

鳴見台小学校区 コミュニティ協議会

だより

令和8年4月
第7号

住みよい地域のために



会長 中本 年信

「鳴見台小学校区コミュニティ協議会」が設立されて4年目を迎えようとしています。大型住宅団地が中心ですが、新旧の住民が入り混じる地域で、市内では珍しい子どもの数が増えている校区になります。前号でもお知らせしましたが、地域の子もたちをどう見守るのか、試行錯誤を重ねています。地域の宝である子どもたちが安心して過ごせるまちづくりを目指しています。今後とも、地域住民の皆さんのご協力をお願いいたします。



目指す将来像

住みたくなる
集いたくなる
楽しくなる
つながる
はばたく
なるみだいすき



1月11日 鬼火焚きの様子

鳴見台小学校区コミュニティ協議会

住所 長崎市鳴見町1400番地7 日当公民館
電話 090-6386-2123 (事務局専用)
ホームページ <https://www.narumichikomi.com/>
(発行責任者：中本 年信)



LINEアカウント



ホームページ

活動の様子 ～こんなことをやりました 第3弾～



楽しいゲーム遊び



5年生がサポーターとして大活躍



保護者交流会の様子

もうすぐ1年生、集まれ!

そこで、保護者同士の交流や子ども同士の交流、地域の方を交えての親子触れ合い遊び、クイズによる安全な登下校の仕方の学びなどを通して、入学前の不安を少しでも取り除けたらとの思いから企画しました。

参加者の感想

○学校についてすぐ、親と子で分かれて活動するのが心配でしたが5年生のお兄さんお姉さんが優しく声をかけてくれたおかげで楽しく遊ぶことができました。ありがとうございます。

○今日はもうすぐ1年生のイベントをとて楽しみに小学校にきました。子どもたちがみんな明るくとても優しい印象が安心しました。お友達ができるのかな?と一番心配しておりましたが、心配しなくても大丈夫なのかも!と心配より早く1年生にならなかなかったです。

○同じ新1年生の保護者の方と不安なことなどについて共有でき私の気持ちも少し落ち着きました。校長先生からもお話をいただき、子どもを信じてしっかりと見守り送り出そうと思います。

2月28日(土)、「もうすぐ1年生、集まれ!」を行いました。鳴見台小学校区には幼稚園・保育園・こども園など就学前の幼児が通う施設がありません。そのような中、鳴見台小学校には様々な園から入学してくるそうです。友達ができるか、ひとりで登下校できるか、給食は大丈夫かなど親も子もきつと不安な気持ちでいることでしょう。

鳴小みらいトーク



1月25日(日)に鳴見台小学校で、「鳴小みらいトーク」を実施しました。保護者や自治会役員、民生委員など、地域の方々約60名が参加して実施しました。様々な意見が出されました。今回は「子どもたちの登下校見守り」をテーマにグループトークが行われ、協議会が検討を重ね策定した「地域子育て憲章」を実践に移すべく、地域ごとの課題を出し合い、どのような解決策があるか議論が行われました。

登下校時の地域での見守りについては、見守りの負担が分散される体制をつくること提案され、日時・場所を選択できるよう一覧表にし、参加できる方がその欄に名前を書くなど、具体的な解決策を話し合いました。

今回出された意見と住民アンケート結果をもとに、分析を進めるとともに、解決策を具体的に検討する体制づくりに取り組めます。

これからの活動予定

4月9日(木) 19時～ コミュニティ協議会総会
(鳴見台小学校 1階ワークスペース)